

常盤中図書館通信

令和5年11月号 常盤中学校図書館発行

暑かった夏が終わり、朝晩は冷えるようになりました。一日の寒暖差が激しい日が続いていますね。体調を崩さないように気をつけて過ごしましょう。



10月27日～11月9日は読書週間です。

終戦の2年後の1947（昭和22）年、まだ戦争の傷あとが日本中のあちこちに残っているとき、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と、出版社・取次会社・書店と図書館が力をあわせ、そして新聞や放送のマスコミも一緒になり、第1回「読書週間」が開かれました。それから70年以上が過ぎ、「読書週間」は日本中に広がり、日本は世界のなかでも特に「本を読む国民」の国となりました。

今年の「読書週間」が、みなさん一人ひとりに読書のすばらしさを知ってもらうきっかけとなることを願っています。

（読書推進運動協議会 HP より）

今年の標語は「私のペースでしおりは進む」です。



自分のペースで楽しみながら読書をしてもらえたらと思います。
新しい本もたくさん入荷していますよ。図書館で待っています！

★読書週間特別企画★

図書館×給食コラボ！

11/6（月）「東京すみっこごはん」（成田名璃子著 光文社）より **親子丼**



商店街の脇道に佇む一軒屋「すみっこごはん」は、年齢も職業も異なる人々が集い、手作りの料理を共に食べる共同台所。ワケありの人々が巻き起こすドラマを通して明らかになる「すみっこごはん」の秘密とは。

栄養士の齋藤先生、給食室のみなさん、ありがとうございます！

図書館委員会による絵本読み聞かせイベント！

11/7（火）に図書館委員会による絵本読み聞かせイベントがあります。学校行事や部活の合間をぬって準備・練習してきました。どんな絵本を披露するかは当日までのお楽しみ！





《新着図書紹介》



小説

- ・「私たちの世代は」（瀬尾まいこ 著）
小学3年生になる頃に今までにない感染症が流行し、不自由を余儀なくされた2人の少女の成長を描く。
- ・「金曜日のあたしたち」（濱野京子 著）
高校受験に失敗した陽葵は、駅前で「ストップ!温暖化」などと書いたプラカードを持つ高校生たちと出会う。
- ・「リスペクト」（ブレイディミカコ 著）
ホームレス・シェルターに住んでいたシングルマザーたちが理不尽な理由で退去を迫られた。女性たちは連帯して立ちあがる。
- ・「さよならごはんを今夜も君と」（汐見夏衛 著）
学生は100円で食べられる夜食専門店。店主がつくる優しいお夜食で再生していく物語。
- ・「涙の音、聞こえたんですが」（嘉成晴香 著）
涙の音が聞こえてしまう美音。ある日聞こえてきたのは、こっそり裏庭で泣いていた生徒会長の健先輩の涙の音で・・・。
- ・「沈没船で眠りたい」（新馬場新 著）
2044年、技術革新に伴う人間の雇用の減少を憂いた機械打ち壊し運動の最中、暴動の首謀者と関係を持つひとりの女子学生が機械を胸に抱いて海に身を投げた・・・。
- ・「すべての恋が終わるとしても140字の恋の話」（冬野夜空 著）
すべての恋が終わるとしても、幸せだったあの瞬間だけは、きっと永遠だ。恋の始まりと終わりを140字で綴った、超短編小説集。

<図書委員長のオススメ!>

- ・「一瞬を生きる君を、僕は永遠に忘れない」（冬野夜空 著）
クラスの人気者・香織から専属カメラマンに任命された輝彦。彼女が明るい笑顔の裏で、重い病と闘っていると知り・・・。



自然科学

- ・「寝るのが楽しくなる睡眠のひみつ」（ヴィッキー・ウッドゲート著）
- ・「びっくり深海魚」（尼岡邦夫 著）・「クジラの歌を聴け」（田島木綿子 著）
- ・「世界でいちばん素敵な数学の教室」（永野裕之監修）
- ・「なぜ、その地形は生まれたのか?」（松本穂高 著）



社会科学

- ・「給食が教えてくれたこと」（松丸奨 著）・「伝統の和食から現代のWASHOKU」（服部幸應 監修）
- ・「教室で生きのびる政治学」（岡田憲治 著）・「9月1日の君へ」（代麻理子企画・著）
- ・「人は話し方が9割」（永松茂久 著）←2年生ビブリオバトルチャンプ本!

他にもたくさん入荷しました! 図書館に見にきてくださいね。